

## データの統合・二次利用を可能にし 大学の価値向上を実現する“CampusMagic” 歯科医師国家試験の合格者順位が飛躍的にアップ!

北九州市小倉北区に位置する九州歯科大学は、県立大学として唯一の歯科単科大学だ。大学理念である「高度な専門性を持った歯科医療人」「地域医療の中核的役割」「歯科医学を支える研究」の育成・推進を掲げる。

同大学では平成18年度から、学生出欠管理および教務事務支援用システム“Campus Magic”を導入し、出欠管理・成績分析などをICT化することで、現役生の国家試験合格率が全国歯科大学29校中4位に上昇するなど、「目に見える形」で具体的な成果を上げている。

そこで、“CampusMagic”による教務事務の「ICT化」を中心とした教育改革、およびその実績とこれからの展望について、同大学の理事長であり学長である西原達次氏と、助教であり情報処理室主任である中原孝洋氏にインタビューを行った。



### 👉 追っていたもの

#### — “CampusMagic” 導入の経緯について教えてください。

中原氏

学部棟を新築する際に、大学内の情報を管理するシステムを本格導入しようと考えていました。学生の成績や学内の様々な情報を、全て可視化したかったのです。しかし、帳票出力ができればOKというだけの既存システムの発想には納得できませんでした。

私が追っていたものは、さらに次の次元として、それを教育にフィードバックできるシステムです。導入前、複数ベンダーの製品を比較検討しましたが、いずれも納得がいく結論は見だせませんでした。「その先」という若干抽象的でもある言葉を理解してくれるベンダーさんがいなかったのです。そんな時に、やっと出会えたのがバリエントソフト社の“CampusMagic”でした。理経の協力もあり、私が実現したいものが具現化できるという感触がありました。



公立大学法人 九州歯科大学  
理事長 学長

### 西原 達次

昭和56年九州歯科大学卒業、昭和61年東京医科歯科大学歯学部大学院歯学研究科修了、米国テキサス大学医学部での研修を経て、国立予防衛生研究所、国立感染症研究所にて研究に従事。平成11年九州歯科大学口腔微生物学講座の教授に就任。平成18年公立大学法人九州歯科大学理事・歯科部長を兼任。平成24年4月理事長・学長に就任。

#### — “CampusMagic” に期待した点は何ですか。

中原氏

実務レベルでの課題として、各PCに様々なデータがバラバラに記録されていました。まず、これをネットワーク化したかったこと、そして生み出される「情報の二次利用ができる点」に大変期待がもてました。本学は県立大学ということもあり、県の予算を有効に使わなければなりません。教務担当者はデータの集計よりも実際の教育企画に集中してもらいたかったということです。教育水準の向上は、学生の不得意な分野

を見つけ出し、早いうちから手当てすることであり、教育リソースの効率化と直結します。



### “CampusMagic” の魅力

中原氏

教務事務ソフトウェアで考えられる基本機能は全て実装しています。他の教務事務ソフトウェアでもCSV集計を引き出すことは可能ですが、“CampusMagic”は簡単に使いこなすことができる、まさに“マジック”のような操作性と結果出力が大きな魅力です。分析を教育に活かし、学力向上の企画を行うことが仕事であって、無駄な操作は本来の仕事ではないのです。その他、出欠・成績管理などのリアルタイム集計も可能です。職員や学生が特にシステムを意識する必要はありません。ごく自然な流れでデータが入力され、慣れ親しんだWeb画面を使って情報を抽出でき、さらに学生本人や担当教員にはメールでも注意を促します。出席日数不足で試験を受けられないといったことも事前に回避できるのです。

また分析データをExcelデータやPDFデータとして直接出力できるため、コストや作業時間の大幅な削減と効率化が可能となりました。「余計な手間がかからない」ことは、教育リソースの向上を意味します。



公立大学法人 九州歯科大学  
口腔機能科学専攻総合教育学分野助教

### 中原 孝洋

## 👉 データの二次利用で合格率を上げる

— 導入によって達成した成果を教えてください。

西原氏

本学は歯科単科大学として、優れた歯科医師を育てるという責任があります。そのためには**限られた教育リソースを活用して、課題を全体で共有し、改善策を見出す**ことが重要です。これまで「どの科目の成績が伸びないと、どうなる」といった部分は、長年の経験をもつてのみ知ることが

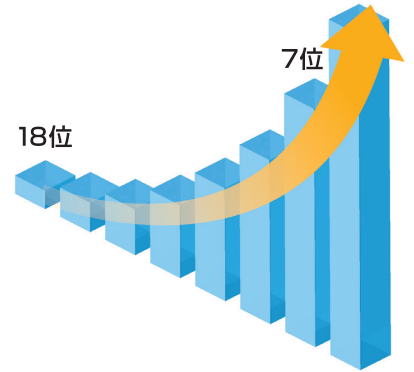
できましたが、これからは課題が明確な目に見える形で教員にも学生にも開示できることが求められます。

中原氏

この「**経験**」でしか**知ることのできなかつた部分を可視化・データ化した**ものが“Campus



# 合格率UP! 4位



Magic”です。抽出したデータを二次利用し成績分析を行うことで、実際の成績に即した動向を得ることができます。例えば2・3年次など特定の期間に成績が悪かった学生は国家試験に落ちやすいなど、学生それぞれの弱点や傾向を知ること、学習指導に役立てられるのです。

国家試験合格率で言えば、“CampusMagic”の導入により、現役生については、全国歯科大学29校中18位(平成21年度)から7位(平成22年度)、さらに4位(平成23年度)へと劇的な改善が見られました。結果的に**大学の価値を向上させる**ことができました。

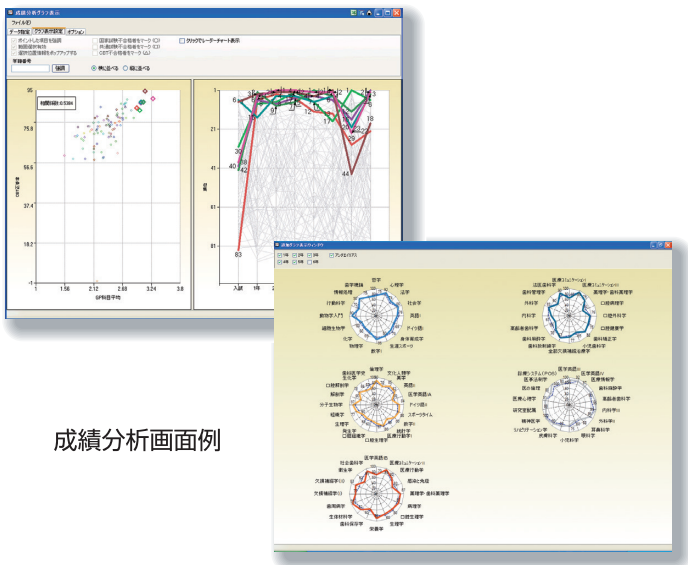
## 👉 今後の活用法

中原氏

教育リソースの効率化は実績を見てわかるとおり、達成できる見通しが立ちました。今後は学習の進捗管理や、教育開発のツールとして活用していきたいと考えています。

現在は出席率、通算成績、全国歯学部共通試験・卒業試験成績など、主に学習成果を中心に分析を行い、個人統計を抽出しています。行き着くところは、「どんなキャンパスライフを送ると、将来どのような歯科医師に

なるのか」という総合的な部分の可視化になるでしょう。果たして大学がこういったところまで手を伸ばすことができるのが正直わかりません。しかしこれが実現できれば、医療人としての人格形成やそれに繋がる地域医療の向上など、本学の掲げる理念の実現として大きな進歩をとげられます。“CampusMagic”は、そんな可能性も秘めたソフトウェアであると私たちは確信しています。



成績分析画面例

## 学生の「個性」まで見通すシステム作り 👉

歯科大学の「教育」とは、技術学力の習得向上がメインだが、人間性・メンタル性の向上など、可視化が難しい分野の教育も必要だ。“CampusMagic”を導入した同大学では、教育リソースの向上に加え、可視化は難しいと考えられている学生の「個性」までも様々な情報を元にデータを蓄積し分析することで、より良い歯科医師を生み出すことへもチャレンジしている。“CampusMagic”はまさに、総合的な「大学の価値向上の実現」に貢献できるシステムである。

### システム要件

DBサーバー	Windows Server 2008 Standard Edition Oracle DataBase
Webサーバー	Windows Server 2008 Standard Edition Microsoft Internet Information Services (IIS)
クライアント	Windows XP/Vista/7 (32bit/64bit)

### ●お問い合わせ

開発元: **Variant soft** バリエントソフト株式会社

〒802-0003 福岡県北九州市小倉北区米町二丁目2-1 新小倉ビル別館3F TEL: 093-533-7080

販売元: **rikei** 株式会社 理 経

本 社 〒163-0535 東京都新宿区西新宿 1-26-2 新宿野村ビル  
大 阪 支 店 〒530-0047 大阪府大阪市北区西天満 1-7-20 JIN・ORIXビル  
東北営業所 〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町 1-2-25 仙台NSビル  
九州営業所 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前2-20-1 大博多ビル

TEL: 03-3345-2170 (システムソリューション営業部)  
TEL: 06-6130-8777  
TEL: 022-266-6181  
TEL: 092-411-8731